

令和7年度第1回宗像市環境保全審議会 会議録

■名称

令和7年度第1回宗像市環境保全審議会

■開催日時及び開催場所

開催日時 令和8年1月21日（水）14:00～15:30

開催場所 市役所304会議室

■出席者

委員		
<input type="checkbox"/> 安藤委員（副会長）	<input checked="" type="checkbox"/> 柴田委員	<input checked="" type="checkbox"/> 清水委員
<input checked="" type="checkbox"/> 中石委員	<input checked="" type="checkbox"/> 中村委員	<input checked="" type="checkbox"/> 東委員
<input checked="" type="checkbox"/> 久門委員	<input type="checkbox"/> 松尾委員	<input checked="" type="checkbox"/> 松本委員（会長）

事務局	
<input checked="" type="checkbox"/> 山倉部長（環境部）	<input checked="" type="checkbox"/> 前田課長（脱炭素社会推進課）
<input checked="" type="checkbox"/> 高倉課長（環境課）	<input checked="" type="checkbox"/> 瀧口政策係長（脱炭素社会推進課）
<input checked="" type="checkbox"/> 大森環境政策係長（環境課）	<input checked="" type="checkbox"/> 根来主任主事（脱炭素社会推進課）
<input checked="" type="checkbox"/> 松成資源廃棄物係長（環境課）	<input checked="" type="checkbox"/> 野口主任主事（脱炭素社会推進課）

■議題及び内容

- 1 開会
 - ・根来より開会の挨拶及び資料の確認
 - ・前田より出席者の確認及び委員交代の報告
- 2 環境部長挨拶
 - ・山倉より挨拶
- 3 会長挨拶
 - ・松本会長より挨拶
- 4 市からの諮問
 - ・諮問の内容等を確認

5 審議事項（会長による進行）

○第2次宗像市環境基本計画（中間見直し）令和6年度進捗評価報告（案）について

【事務局からの説明】

- ・「第2次宗像市環境基本計画の概要」、「進捗評価の目的」、「評価の手順」及び「評価の方法」について説明するとともに、個別施策の評価基準変更について補足
- ・「計画指標の進捗状況」及び「各環境分野における個別施策の総合評価及び令和6年度の実施状況」について報告するとともに、昨年度から目標を変更した事業、複数課の評価をもとに総合的に評価した事業等について資料に沿って補足

【質疑応答及び意見】

（委員）「水辺環境の保全」について、釣川クリーン作戦の参加者数やごみ収集量は減少傾向にあるのか。また、参加者数とごみ収集量に相関関係はあるのか。

（事務局）近年、参加者数もごみ収集量も減少傾向にあるが、日頃からの環境美化ボランティア活動の成果として、水辺に落ちているごみの総量が減少傾向にあることが要因であると推測される。

（委員）ごみの総量が減少傾向にあるのであれば、それ自体を高く評価できる。

（委員）「水辺環境の保全」について、小学校2校が水辺の生き物観察会、水辺教室等を実施していない理由は。

（事務局）大島は3年に一度の開催であるため、昨年度は未実施であり、もう1校は実施を依頼したものの、学校側の都合により辞退となった。

（委員）「水辺環境の保全」について、ホタルモニターの地区数と人数に年度ごとの増減はあるのか。

（事務局）12地区のうちホタルモニターが不在の地区が2地区あるものの、地区数と人数の増減はない。

（委員）「計画指標の進捗状況」について、学校授業での環境講座受講者数に、各種事業への参加者は含まれているのか。また、具体的な改善策はあるのか。

（事務局）水辺の生き物観察会、水辺教室等の各種事業への参加者が含まれている。また、改善策として、学校への出前授業等を通じ、脱炭素社会推進に向けた啓発の機会を増加させている。

（委員）「里山の保全と再生」について、令和9年度に福岡県森林環境税事業が終了した後、荒廃した森林の再生に向けた事業は実施しないのか。

（事務局）福岡県からは令和10年度以降も福岡県森林環境税事業と同様の事業を実施する予定であると聞き及んでいる。

（委員）「里山の保全と再生」について、強度間伐の実施対象となっている土地所有者との協定とあるが、協定期間は何年なのか。

（事務局）荒廃した森林の再生に向けた強度間伐に関する協定期間は原則20年とされている。

（委員）「計画指標の進捗状況」について、温室効果ガス総排出量が増加している要因は。

（事務局）環境省の算定基準を用いているため、要因を特定することはできないが、産業部門、業務その他部門、家庭部門及び運輸部門において増加している。

- (委員)「農地の保全」について、後継者育成に向けた手段として挙げられている第三者継承とは。
- (事務局) 農業経営の第三者継承は血縁関係のない方に農地、設備、技術等を受け渡すこと手法。
- (委員)「農地の保全」について、多面的機能直接支払交付金事業を活用件数は増加傾向にあるのか。
- (事務局) 多面的機能直接支払交付金事業の詳細な活用件数は把握していないが、近年の実績値では微増している。
- (委員)「ごみの適正処理の推進」について、現在のごみステーション数は。また、効率的な収集・運搬の推進に当たっては、住民の利便性を損なわないという観点も重要ではないか。
- (事務局) 現在の3, 266のごみステーション数があり、住民の要望等を受け、収集運搬事業者と連携し、ごみステーションの移設、増設、統合等を行っているが、全体的には増加傾向である。
- (委員)「ごみの適正処理の推進」について、資源物無料回収所における回収量の把握方法は。
- (事務局) あくまでも推計であるが、資源物無料回収所の設置数等を踏まえ、独自の計算式に基づいて算定している。
- (委員)「再生可能エネルギーの導入促進」について、ため池を活用した水上太陽光発電に関する計画の進捗状況は。
- (事務局) 当初、令和7年度に実施を予定していたが、事業者による工期の変更、発電した電力の売電先の調整等の理由により、着工が大幅に遅れている。

○答申書の作成について

- ・根来より答申書及び議事録の作成方法について説明
- ・事務局が答申書及び議事録の案を作成し、確認及び修正を会長に一任

○その他

- ・なし

6 閉会

- ・前田より開会の挨拶

■会議資料の名称

資料1 委員名簿

資料2 第2次宗像市環境基本計画（中間見直し）令和6年度進捗評価報告書（案）

参考資料 取組事業評価票

以上